



江戸以来の歴史を未来へ伝える文化施設



中央区は江戸以来400年以上の歴史や伝統を誇り、歴史の重なりを物語る名所や旧跡、文化財や歴史的建造物、伝統芸能や地域行事など、多くの文化資源に恵まれています。今回の特集では、中央区の歴史や文化を楽しく学べる施設「本の森ちゅうおう」と、街中に点在する「中央区まちかど展示館」を紹介します。

◆地域の生涯学習拠点「本の森ちゅうおう」(京橋図書館・郷土資料館)

子どもから大人まで誰もが親しみを持って利用できる

本の森ちゅうおうは、京橋図書館と郷土資料館が併設され、さらに多目的ホールやカフェを備えた複合施設として、令和4(2022)年12月4日に開館しました。施設のコンセプトは「子どもから大人まで誰もが親しみを持って利用できる」、歴史・文化を未来へ伝える地域の生涯学習拠点。1階から6階の屋上庭園まで、フロアごとに利用でき、

待望のオープン初日には7000人の来場者を記録

令和元(2019)年6月から令和4(2022)年10月までの工事期間、その後の準備期間を経て、本の森ちゅうおうは開館当日を迎えました。

男」などの演目が披露されました。また、作家・博物学者として活躍する荒俣宏氏による講演会もあり、中央区の歴史や文化についてお話いただきました。

38万冊を誇ります。新施設では、郷土資料館と併設されたことにより、より深く学べる場となりました。

開館式では、区長等の挨拶のあと、中央区で活動している「新富座こども歌舞伎」による開館を祝した千客万来祈念の「一番太鼓打ち初めの儀」が執り行われました。テープカットの後は、公演があり、「口上」「白浪五人

場される方も大勢いらっしゃいました。

開館式では、区長等の挨拶のあと、中央区で活動している「新富座こども歌舞伎」による開館を祝した千客万来祈念の「一番太鼓打ち初めの儀」が執り行われました。テープカットの後は、公演があり、「口上」「白浪五人

場される方も大勢いらっしゃいました。

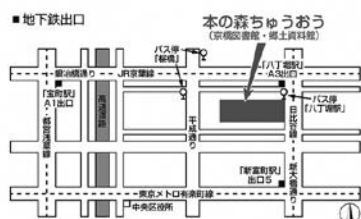
開館式では、区長等の挨拶のあと、中央区で活動している「新富座こども歌舞伎」による開館を祝した千客万来祈念の「一番太鼓打ち初めの儀」が執り行われました。テープカットの後は、公演があり、「口上」「白浪五人

場される方も大勢いらっしゃいました。

開館式では、区長等の挨拶のあと、中央区で活動している「新富座こども歌舞伎」による開館を祝した千客万来祈念の「一番太鼓打ち初めの儀」が執り行われました。テープカットの後は、公演があり、「口上」「白浪五人



八丁堀駅から徒歩すぐ



住所：中央区新富1-13-14
TEL：京橋図書館 03-3551-2151、
郷土資料館 03-3551-2167
開館時間：月曜～土曜 9時～21時、日曜・
休日 9時～17時
休館日：毎月第3木曜、年末年始(12月
31日～1月2日)、臨時休館あり
入館料：無料



山本中央区長からの撥渡し(打ち初めの儀)
〔「新富座こども歌舞伎」は中央区内の小学生で構成〕

都心部にありながら 森や自然が感じられる建物

本の森ちゅうおうは、施設名にもあるように「森」をイメージした建物になっています。1階が林床、2階が草本層など、各階は森林の階層構造に沿ったデザインとなっており、低層階から上へ行くに従って床の色も土っぽい色からだんだん明るい色に変わっていきます。また、建物全体は角張った不思議な形をしています。これは「ボロノイ」という自然界にある形状で、キリンの柄、トンボの羽の柄、葉脈の模様などに見られます。この形状を天井や壁面など建物内にも取り入れています。



1・2階には郷土資料館と カフェ、ホールなどを配置

1階には大型サイネージで施設の情報が見られるエントランスホール、イベントを開催する多目的ホール、図書館の本を持ち込めるカフェもありま。郷土資料館常設展示室には床面に中央区の昭和の地図が広がっており、区内の歴史めぐりが疑似体験できます。

2階には郷土資料館の企画展示室、貴重本を豊富にそろえた地域資料室、料理本などをそろえたくらしのコーナー、こどもコーナーなどがあります。こどもコーナーの「おはなしのへや」では靴を脱いでくつろぎながら親子の読み聞かせができます。また2階のテラス「つどいの森」は飲食や散策ができる水場のある公園で、ここから外階段を使って出入りもできます。

3・5階には小学生から 大人までの学習室が充実

3階から5階までは一般書架を配置した京橋図書館のメインフロアですが、3階は10代向けの資料をそろえた Teens コーナーや小学4年生から

高校生を対象とした複数人で学習できるグループ学習室（予約制）などがあり、若い世代に特化したコーナーを設けています。4階には大人も利用できる一般学習室があります。

5階にはビジネスパーソンや就職・起業を目指す方に必要な資料を取りそろえたビジネスコーナー、飲食可能なラウンジなども設置しています。

6階は、星空観望会も 開催する屋上庭園

6階の屋上庭園は、緑に囲まれながら読書をしたり、展望台からの景色を楽しめる屋外スペースです。月に1回、天体望遠鏡を設置した星空観望会を開催しています。

本の森ちゅうおうは、まだ完成したばかりの施設です。地域の皆さんのご要望なども取り入れながら、過ごしやすく、利用しやすい、さまざまな活動拠点となるような多様性のある施設を目指していきます。



3F グループ学習室



6F 屋上庭園



3F 雑誌コーナー



2F 地域資料室



2F つどいの森



1F カフェ

◆江戸開府以来の多様な文化資源を紹介する「中央区まちかど展示館」

江戸時代からの伝統を育む 中央区の文化資源を展示

中央区は江戸時代より、わが国の文化・商工業・情報を中心として発展してきた長い歴史と伝統を誇る由緒あるまちです。この中央区の魅力を多くの方々に知っていただくため、地域の文化資源を「まちかど展示館」として整備し、開設しています。展示館は、小さな老舗内の伝統工芸品を飾ったショーケースから企業のものづくりや歴史を展示したもの、下町の祭りに使用する神輿など、規模や展示方法はそれぞれですが、中央区に伝わる多様な文化資源をご覧いただけます。

現在29館がまちかど展示館として開設されており、その中で特徴的な6館を紹介します。

5 銀座かなめ屋・ かんざし和装小物展示館

着物に必要な小物を通じ、和装文化を支え続ける銀座の老舗。べっ甲かんざしなど店に伝わる伝統工芸品を公開しています。展示品は不定期に入れ替

わり、制作に用いられる工具やべっ甲に関する江戸時代の文献の複製版なども飾られます。

6 足袋の博物館

安永年間（1772～1781年）創業の大野屋總本店に設置された博物館。歌舞伎、狂言、雅楽などで使用される足袋、製作の機具などが展示されています。神社用の足袋から昔の鹿革の足袋なども展示され、足袋の歴史もわかります。

15 江戸屋所蔵 刷毛ブラシ展示館

享保3（1718）年創業の刷毛・ブラシの専門店「江戸屋」の展示館。東京都の伝統工芸品に指定されている「江戸刷毛」の数々、馬毛、豚毛などの見本、大正時代の註文帳などを展示しています。店舗は国登録有形文化財に指定されている建造物で、人造石洗出し仕上げの看板建築。

17 江戸東京組紐 龍工房体験展示館

上質な帯締めが皇室や梨園から愛用

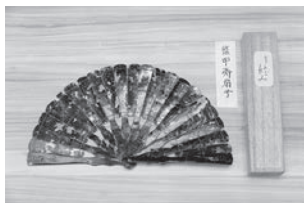
される老舗。組紐の展示のほか、組紐づくり体験も行っています。二代目当主の福田隆さんは厚生労働大臣が表彰する「現代の名工」、東京都優秀技能者（東京マイスター）に選出されている日本屈指の組紐職人です。

23 三菱倉庫・ 江戸橋歴史展示ギャラリー

歴史的建造物「日本橋ダイヤビルディング」で、「日本橋江戸橋のうつりかわり」をテーマに、精巧な模型やタッチパネルなどを使ってダイナミックな変貌を遂げた三菱倉庫と江戸橋の歴史を紹介しています。

29 ふるさと晴海 資料展示館

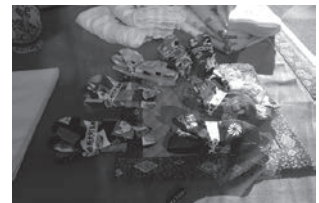
晴海臨海公園入り口に建つ展示館。神輿を模したような方形屋根の建物で、大小神輿と曳き太鼓を展示しています。これまで晴海には自前の神輿がありませんでしたが、平成23（2011）年に浅草の神輿師・宮本重義氏によって造営されました。



5 銀座かなめ屋・
かんざし和装小物展示館



15 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館



6 足袋の博物館



17 江戸東京組紐龍工房体験展示館



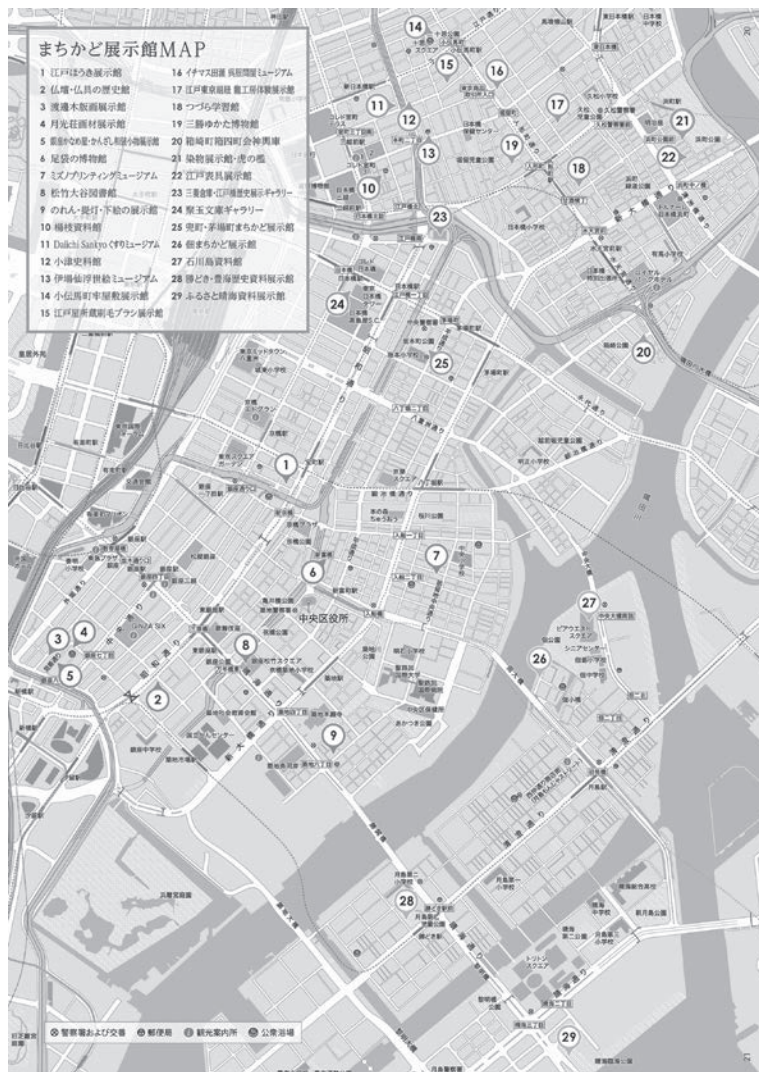
29 ふるさと
晴海資料展示館



23 三菱倉庫・
江戸橋歴史展示ギャラリー

中央区

- 1 江戸ほうき展示館
京橋3-9-8 03-3563-1771 年末年始等を除く月～土曜10～19時
- 2 仏壇・仏具の歴史館
銀座7-14-3 03-3542-5771 年末年始等を除く毎日10～18時
- 3 渡邊木版画展示館
銀座8-6-19 03-3571-4684 年末年始等を除く月～土曜11～18時（祝日は～17時）
- 4 月光荘画材展示館
銀座8-7-2 03-3572-5605 年末年始等を除く毎日11～19時
- 5 銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館
銀座8-7-18（見番通り） 03-3571-1715 祝日・年末年始等を除く月～金曜11～20時30分、土曜12～19時
- 6 足袋の博物館
新富2-2-1 03-3551-0896 祝日・年末年始等を除く月～金曜9～17時
- 7 ミズノプリンティングミュージアム
入船2-9-2 03-3551-7595 祝日・年末年始等を除く月～金曜10～16時 ※要予約
- 8 松竹大谷図書館
築地1-13-1 銀座松竹スクエア3F 03-5550-1694 祝日・年末年始・毎月最終木曜等を除く月～金曜10～17時 ※図書閲覧は要予約
- 9 のれん・提灯・下絵の展示館
築地6-5-5 03-3541-3741 祝日・年末年始・市休休業日等を除く月～土曜7時30分～17時30分
- 10 楊枝資料館
日本橋室町1-12-5 03-5542-1905 祝日を除く月～金曜10～17時、土曜12～17時
- 11 Daiichi Sankyoくすりミュージアム
日本橋本町3-5-1 03-6225-1133 年末年始等を除く火～日曜・祝日・振替休日10～18時 ※要予約
- 12 小津史料館
日本橋本町3-6-2 小津本館ビル 03-3662-1184 年末年始等を除く月～土曜10～18時
- 13 伊場仙浮世絵ミュージアム
日本橋小舟町4-1 03-3664-9261 年末年始を除く毎日8～20時（店舗は祝日・年末年始等を除く月～金曜11～17時）
- 14 小伝馬町半屋敷展示館
日本橋小伝馬町5-19十思スクエア別館内03-3546-5346（中央区区民部文化・生涯学習課内9～17時） 年末年始等を除く毎日9～20時
- 15 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館
日本橋大伝馬町2-16 03-3664-5671 祝日・年末年始等を除く月～金曜9～17時
- 16 イチマス田源 呉服問屋ミュージアム
日本橋堀留町2-3-8 03-3661-9351 年末年始を除く毎日10～17時30分（不定休あり）
- 17 江戸東京組紐 龍工房体験展示館
日本橋富沢町4-11 03-3664-2031 祝日・年末年始等を除く月～金曜11～16時 ※組紐体験は要予約
- 18 つづら学習館
日本橋人形町2-10-1 03-3668-6058 祝日・年末年始等を除く月～土曜10～17時 ※つづら制作のため入店できない場合あり
- 19 三勝ゆかた博物館
日本橋人形町3-4-7 03-3662-3860（平日11～16時） 祝日・年末年始等を除く月～金曜14～16時 ※1週間前までに要予約
- 20 箱崎町箱四会神輿庫
日本橋箱崎町26-1 03-5962-3137（平日の月～金曜9～12時） 通年8～18時
- 21 染物展示館・虎の檻
日本橋浜町2-45-6 03-3666-5562 祝日・年末年始等を除く月～金曜9～18時、土曜～17時
- 22 江戸表具展示館
日本橋浜町2-48-7 03-3666-6494 祝日・年末年始等を除く月～土曜9～18時
- 23 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー
日本橋1-19-1 03-3278-6611 祝日・年末年始等を除く月～金曜7時30分～19時30分、土曜～13時30分
- 24 聚玉文庫ギャラリー
日本橋2-7-1 03-3272-3801 祝日・年末年始・盆休みを除く通年10～18時30分（土・日曜は～17時30分）
- 25 兜町・茅場町まちかど展示館
日本橋兜町15-3 坂本町公園内 090-2465-4001（10～19時） 通年8時30分～20時
- 26 佃まちかど展示館
佃1-2-10先 03-3546-5346（中央区区民部文化・生涯学習課内9～17時） 通年常時開館
- 27 石川島資料館
佃1-11-8 ビアウエストスクエア1F 03-5548-2571 年末年始等を除く水・土曜10～12時、13～17時（入館は～16時30分）
- 28 勝どき・豊海歴史資料展示館
勝どき1-9-8 月島第二児童公園内 03-3531-0092・090-3529-3712（11～16時） 毎月第2土・日曜10～16時
- 29 ふるさと晴海資料展示館
晴海2-4 晴海臨海公園内 080-7723-3158（11～16時） 通年常時開館



中央区まちかど展示館（MAP）



展示館めぐりをさらに楽しむための
季刊誌とスタンプラリー

中央区まちかど展示館運営協議会では、楽しく展示館をめぐってもらおうという主旨で、展示館の紹介のほか、街の歴史やおすすすめスポットなど街歩き情報を加えた季刊誌を年2回発行しています。また、展示館をめぐってスタンプを集めると景品がもらえるスタンプラリー、展示館の見学と各種体験を組み合わせた「夏休み親子体験バスツアー」などのイベントも開催しています。



中央区まちかど展示館
公式SNS

ぜひ、フォローをお願いします。

Facebook



Twitter



Instagram

